

施策マネジメントシート(平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成 26 年 7 月 4 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	総務課
				課長	篠田 朗
施策	11	交通安全対策の推進	関係課	地域整備課(管理、建設)	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民	①交通事故にあわない、起こさない。		基本事業	1 交通安全意識の高揚
		2 交通安全施設の整備	町民		安全に通行できる。
		3			
		4			
		5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	交通人身事故発生件数(町内/町民が第1当事者)	件	実績値	94/107	114 /130	40/93			
目標値					93/105	91/102	90/99	88/96	87/93	85/90
B	交通事故による人的被害者数(死者/傷者)	人	実績値	1/133	1/162	1/109				
			目標値		0/131	0/129	0/127	0/125	0/123	0/120
C	交通安全施設の要望に対する設置率	%	実績値	64.3	62.2	68.8				
			目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 交通人身事故統計年報による
 ※1月～12月の数値

B) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 交通人身事故統計年報による
 ※1月～12月の数値

C) 数値が高まれば、目的が達成されているといえるため成果指標とした。
 ※交通安全施設の設置箇所数/地区からの要望箇所のうち、必要と判断された箇所数

目標値設定の考え方

A) 人身事故発生件数(町民が第1当事者)は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。毎年3件ずつ減少させることを目標とする。人身事故発生件数(町内)のうち、約半数が町民が第1当事者であることから、成り行きでは毎年1件減少する。目標として2年で3件の減少をめざす。【交通人身事故第1当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり)榛東村:1,113人(H23)、昭和村:570人(H23)、沼田市:568人(H24)、片品村:563人(H23)、川場村:391人(H23)、みなかみ町:514人(H23)】

B) 交通事故による死者数は0件をめざす。傷者については、交通事故の約半数が町民であることから、成り行きでは人口の減少に伴って毎年1件減少と設定。交通人身事故発生件数との相関関係が強い指標であり、事故1件あたりの負傷者数を平成23年度実績の1.41と想定して、平成29年度には85件×1.41=120人をめざす。

C) 要望箇所数は、交通安全施設の整備により減少傾向にあると考えられる。設置の必要性はあるが協力を得られないなどの外的要因(用地問題、国・県協議等)により実施できない場合もあり、成り行き値は要望に対し70%で見込んでいる。目標値は、交通安全に対する必要性を関係者に訴え、理解・協力してもらうことにより80%の設置をめざす。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。 ②歩行者、運転者ともに交通ルールを遵守する。	①関係機関と連携し、交通安全施設の整備を推進する。 ②交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。 ③警察に要望していることについて、1日も早く実現してもらえるようにより具体的に伝え、連絡を密にする。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	高齢化に伴い高齢運転者の増加が予想される。	①交通事故をなくしてほしいという期待がある。 ②ガードレールやカーブミラー等を設置するなど交通安全対策を進めているが、交通事情の変化により新たな場所に設置を求める声がある。 ③通学路の安全対策を求める声がある。 ④消雪・融雪施設の設置を期待されている。

施策	11	交通安全対策の推進	主管課	名称	総務課
				課長	篠田 朗

実績比較		背景・要因
① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>① 町内でおきた交通人身事故数の経過は、平成24年は114件だったが、平成25年度82件と32件減少している。また、県内で町民が第1当事者となった交通人身事故発生件数は93件で平成24年の130件から37件減少している。このうち第1当事者が町民であった事故は67件から40件になっており、27件減少している。</p> <p>② 町内の交通事故死傷者数は平成20年186人、平成21年124人、平成22年136人、平成23年134人と減少傾向を示していたが、平成24年は163人と29人増加し、平成25年は110人で53人の減少となった。住民やドライバー、行政の努力の影響がどのように現れているのかは不明。</p> <p>③ 交通安全施設の平成23年度の設置要望14件のうち9件を実施し、平成24年度は要望31件のうち19件実施した。平成25年は32件の要望に対し22件実施している。設置率の算出は実施数の累積を要望数の累積で除して算出するため、設置率は68.8%であった。前年の62.2%から6.6ポイントの上昇となった。</p>
	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>① 平成25年中の利根沼田地区交通事故発生件数は、沼田市271件、片品村23件、川場村24件、昭和村42件、みなかみ町93件となっている。10万人あたりの第1当事者数では、沼田市546.58人、片品村502.62人、川場村639.32人、昭和村566.88人、みなかみ町464.63人となっており、近隣市町村と比較して少ない。</p> <p>② 平成25年中の人口10万人あたりの交通人身事故発生件数のうち、第1当事者数を県内市町村と比較すると、ワースト1位が昨年に続き榎東村955.30人(昨年1,017人)、最良が上野村312.72人となっている。近隣市町村の順位は、川場村19位、昭和村20位、沼田市21位、片品村25位、みなかみ町29位、となっており、県内でも少ない方である。一方で、人口10万人あたりの悪質事故(無免許、飲酒、速度違反)に限ってみると、みなかみ町は14.99人で平成24年の26位から19位と順位が向上している。平成24年の内訳は速度超過1件のみだったが、平成25年は飲酒2件、速度超過の1件の3件となった。近隣市町村では沼田市が3件6.05人で27位、昭和村は3件40.49人で3位、片品村は2件43.72人2位、川場村は高山村、草津町とともに件数当事者数とも0であった。県全体の悪質事故は無免許53件、飲酒118件、速度165件、計336件で昨年と同数である。</p>
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>① 交通人身事故発生件数の実績値は、町民が第1当事者の件数93件で、目標値を達成している。ちなみに町内で発生した件数は82件。</p> <p>② 交通事故による人的被害者数の実績値は、死者数1人、傷者数109人であり、目標値を上回る減少であった。</p> <p>③ 交通安全施設の要望に対する設置率の実績値は68.8%であり、目標値を下回った。町が実施可能な施策は予算の制限もあるが、ほぼ要望を満たす状況であるが、要望には警察が設置するものも含まれており、警察への要望は、順番待ちの状況があり実績値を目標に近づけるのは困難。</p> <p>交通人身事故発生件数について時系列では、昨年の20%増から28%の減で県全体の増減率-4.1%を大きく上回る減少率であった。昨年の事故増加を踏まえ住民の交通安全に対する意識や知識は高まりつつあると考察できる。</p>
成果実績に対する取り組みの総括	<p>① 交通指導員には四季の交通安全運動で年4回・小学校の交通安全教室やホテル観賞のタペ等のイベントに協力してもらっており、警察・交通安全協会・交通安全会女性部と連携して交通事故防止を呼びかけた。</p> <p>② 交通安全対策施設整備事業として、交通安全対策特別交付金(国費)により、カーブミラー(25件)・ガードレール(308.5m)・区画線(4,032.5m)等の整備を行った。</p> <p>③ 子どもが交通事故にあわないように、交通安全教室を各幼保・小中学校全校で実施した。</p> <p>④ 交通安全だよりを各行政区へ配布し、地域における交通安全を啓発した。</p> <p>⑤ 水上地区では交通安全会が独自に組織されており、新入学児童の下校指導や毎月1・15日の街頭指導などを実施している。</p> <p>⑥ 学校教育の施策ではあるが、平成23年度末に新治地区で「子ども安全安心・育成協議会」を組織され、見守り協力員の方が小中学生の登下校に付き添うようになった。見守り協力員は当初約60人ほどの地域住民の方が登録されていたが、平成24年度末で67人、平成25年度末では71人となっている。</p> <p>⑦ 通学路に関する要望などについて、沼田土木事務所・沼田警察署・町の三者で点検・確認を行い安全確保のための対応を行った。</p>	

	基本事業名	今後の課題	平成27年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 交通安全意識の高揚	<p>全般的には意識向上に向かってはいるが、依然として狭隘路においても減速せずに走行する車が多い。歩行者(特に中高生)もルール無視の横列歩行などが見られる。どちらも通勤や通学に使用される生活路でのルール違反が目立つ。</p>	<p>通学路の危険箇所などを調査し、「ヒヤリハットマップ」等があれば公開し運転者の注意を喚起する。</p> <p>教育課と連携し交通安全指導やスタントマンなどによる事故の疑似体験指導等、効果的な指導を取り入れる。</p> <p>警察・県土木等と連携し、スピード抑制のための具体的な方策を検討する。</p>
	2 交通安全施設の整備	<p>人通りの少ない道路では、老朽化した施設が改善の対象として要望されない状況がある。</p> <p>狭隘道路へ設置した施設への接触事故などがある。</p> <p>交通関係施設設備の設置について必要性の判断基準をつくる必要がある。</p> <p>交付金の用途に縛られ、予算不足で実施できないケースがある。</p>	<p>老朽化した施設の更新や必要な交通施設の整備にかかる方針を検討し、要望に添った整備状況を検討する。</p> <p>警察・土木に要望して検討中の施設については、必要に応じて繰り返し要望していく。</p>
	3		
	4		

11 交通安全対策の推進

11-01-000001				担当組織 総務課 消防・防災グループ				事業費 5,292,136円				
交通指導隊運営事業				予算科目 会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 12交通安全対策費		
事業概要	対象	交通指導員		意図	交通指導員の能力向上			手段	四季の交通安全運動各行事における交通整理及び雑踏整理町内の小中学校を対象とした交通安全教室			
		平成24年度	平成25年度		単位	交通指導員の出勤回数(のべ人数)	平成24年度		平成25年度	単位	交通指導員の出勤回数(のべ人数)	平成24年度
		31	31	人		420	429	回		420	429	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括	町村合併により、旧町村単位で交通指導員数が削減されたが、出勤する回数はそれほど減っていないため、交通指導員にかかる負担が増えている。そのため、指導員からは負担軽減を求める声がある。イベント主催者と協議し、交通指導員の出勤時間の短縮等、調整を行っている。			今後の改革改善案	昨年のみなかみ祭りでは交通指導員と警備会社が一緒になって交通整理をしていたが、警備会社のみでの対応が可能だと思われる。警備会社に委ねられるイベント等を増やすことで交通指導員の負担を軽減する余地がある。			課題とその解決策	小・中学校の交通安全教室などは別として、各種イベントの交通整理をすべて交通指導員に出勤してもらおうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託するようしていきたい。		

11-01-000002				担当組織 総務課 消防・防災グループ				事業費 230,474円				
交通安全意識啓発事業				予算科目 会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 12交通安全対策費		
事業概要	対象	一般住民		意図	交通安全ルールを周知し、交通事故にあわないようにする。			手段	四季の交通安全運動期間内に、利根沼田統一事業への参加やシートベルト街頭指導、ショッピングマラソンなどを展開。			
		平成24年度	平成25年度		単位	交通事故死傷者数	平成24年度		平成25年度	単位	交通安全運動イベント件数	平成24年度
		21,532	21,285	人		163	110	件		50	48	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括	現在は四季の交通安全運動期間における啓発活動が主となっており、引き続き交通事故件数の抑制につながる活動を行ってほしい。			今後の改革改善案	現在は四季の交通安全運動期間における啓発活動が主となっているが、通年で取り組める事業の検討を行う必要がある。			課題とその解決策	交通安全を啓発する看板の設置や、それらに付随する交通安全施設の簡易な修繕を行う。		

11-01-000003				担当組織 総務課 消防・防災グループ				事業費 63,000円				
利根沼田交通安全センター運営費負担事業				予算科目 会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 12交通安全対策費		
事業概要	対象	利根沼田交通安全センター		意図	運転免許所有者の運転免許証の更新			手段	利根沼田交通安全センター管理費負担金の支払い事務。			
		平成24年度	平成25年度		単位	交通センター利用者数	平成24年度		平成25年度	単位	負担金	平成24年度
										63	63	円
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策			

11 交通安全対策の推進

11-02-000001				担当組織 総務課 消防・防災グループ				事業費		5,635,258円											
交通安全対策施設維持管理事業												予算科目		会計 一般会計		款 2総務費		項 1総務管理費		目 12交通安全対策費	
事業概要	対象	交通安全施設				意図	安全な通行に資するよう、交通安全施設を整備する。				手段	交通安全施設の整備(カーブミラー・ガードレール・区画線等)									
		施設設置件数		平成24年度	平成25年度		単位	町内交通事故件数		平成24年度		平成25年度	単位	工事契約件数		平成24年度	平成25年度	単位			
				31	29		件			114		82	件			5	8	基			
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等		○ 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		× 公平性		コスト		削減		維持		増加				
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				成果 向上 維持 低下		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	全体総括		各行政区からの交通安全施設の設置要望件数は増加している。各要望ごとに単体で実施すると、工事にかかる費用が増えるため、いくつかの要望をまとめて工事を実施した。				今後の改革改善案		過去に設置した多数のカーブミラーや警戒標識が、経年変化により老朽化している。今後は、これらの改修・改良にかかる費用が増加する。定期的に点検し、必要に応じて対処する必要がある。				課題とその解決策		予算執行に際し、地域整備課や群馬県警沼田警察署と協議し、より効果的に交通安全施設の整備を行う。						